

第2回「歩きタバコをなくそう！新宿フォーラム」会議録概要

1. 開会

2. 前回の概要 (事務局)

3. テーマ設定と導入 (導入として早稲田大学法学部学生による討論を行う。学生はマナー派とルール派に分かれ、進行役の学生が討論を進める。)

【進行】議論では反対意見が必要なため、ルール派とマナー派に分かれて討議する。前回のフォーラムで、ポイ捨てと歩きタバコは分けて考えるべきという意見があったが、私たちはこれらを表裏一体と考えるので今回は両方について議論する。

【マナー派】最近は喫煙者の居場所がなくなってきている。江戸川区が受動喫煙に対して賠償責任を負うことになった判決が出たが、タバコを吸う権利がなくなってしまったのか。

【ルール派】最高裁判例にそのような権利を認めたものはないが、タバコを吸う自由はある。ただし、自由と自分勝手を履き違えては困る。自由とは義務・責任を伴うものだ。江戸川区の判例は喫煙の自由を否定するものではない。

【マナー派】江戸川区の判例は屋内での例なので、区が健康を守る責任を問われたが、屋外では違うのではないか。

【ルール派】歩きタバコは危険・迷惑だという認識が必要。

【マナー派】人の少ない田舎や、極端な話、砂漠などで、周りに人がいないなら歩きタバコは許されるのではないか。

【ルール派】今回は都市部に限って議論したい。

【マナー派】タバコの煙による危険性の具体例は？

【ルール派】前回のフォーラムでも発言があったように、気管支炎や喘息の人にとって危険だけでなく、妊婦にも害になる。健康増進法でも認められている。

【進行】歩きタバコがマナー違反であるというのはもう明白なので、もう少し実際的な話に絞ってください。

【マナー派】確かに歩きタバコはマナー違反だが、法的に取り締まるべきではなく、あくまでモラルの問題だと思う。

【マナー派】モラルの話が出たので言うが、法で規制するのは未熟な社会でやることだと思う。抜本的な解決にはモラルが重要で、法による規制は対症療法にしかない。

【ルール派】既に実際に被害が出ているのだから、モラルに任せて済む問題ではない。やけどなどの危険な目にあつた方たちにとって、モラルやマナーで済むとは思えない。

【マナー派】新宿区のポイ捨て禁止条例のように、条例があっても効果が上がっていない自治体もあるのだから、キャンペーンやパトロールによってマナーを向上させたほうが有効だ。

- 【マナー派】加えていうと、実効性を求めて過料を課すことにすると、過料は刑罰のように重くなりがちで危険だ。本来は教育するために科す教育刑であるはずが、応報刑になってしまう危険がある。また、私はタバコだけを対象にした条例には疑問を感じる。迷惑なのはタバコだけでなく、放置自転車や違法看板も同じだ。
- 【ルール派】新宿区のポイ捨て禁止条例は、タバコの吸殻だけでなく紙くずや空き缶も規制している。また、自転車や看板などについても他に規制する条例がある。
- 【マナー派】しかし、このフォーラム自体がタバコに限定している。
- 【ルール派】歩きタバコは、紙くずや空き缶のポイ捨てと違って危険だ。街を汚すだけでなく危険だから今回取り組むことになったと思うが、新宿区の方ではどうなのか。
- 【事務局】通称ポイ捨て禁止条例は、紙くず等のごみのポイ捨て行為を禁止すると同時に、まちをきれいにするための事業者や区民の責任も定めている。また、歩きタバコについては自粛の規定を設けているが、これはおっしゃるとおり危険だからだ。
- 【進行】少し話が広がりすぎているので、タバコに絞ってください。
- 【マナー派】モラルの向上によって効果を上げた自治体もある。たとえば港区がそうだ。
- 【ルール派】港区に実際に行ってみたが、植え込みなど見えないところではまだタバコの吸殻が落ちている。本当に成果が上がっているのか？
- 【マナー派】港区の人から聞いたが、港タバコルール施行後、1日あたりのポイ捨ての本数が7割減ったそうだ。
- 【ルール派】港区の職員から聞いたが、苦情の件数は変わらず、職員の方も行き詰まり感を持っている。
- 【ルール派】喫煙者心理として、PRののぼりを見るより2000円の過料を取られると聞くほうが圧迫感がある。
- 【マナー派】ポイ捨て禁止条例で実際に罰金を取った例はないのだから、過料を取れるようにしても同じではないか。
- 【ルール派】千代田区は過料を徴収するようになってからかなり成果をあげている。
- 【マナー派】しかし、千代田区は過料の徴収に膨大な予算をかけている。
- 【マナー派】過料を科すのがいいのかどうかは、その地域の特性による。千代田ではうまくいっても、新宿は駅周辺の面積が広く、巨大な歓楽街があるのでコストや安全性の面でも難しいし、徴収の公平性が確保できない。
- 【ルール派】条例で規制する目的は、マナーの向上、定着だ。千代田の場合も初めはトラブルがあったが、条例が定着していくにつれてトラブルも減った。行政だけでは無理で、地域やボランティアの協力が必要だ。
- 【進行】時間がなくなってきたのでまとめる。ルール派からもマナーはからも大切だといえることは、行政だけでなく住民や来街者などの協力も必要だということだ。地域特性を考慮することも大切だということで、「新宿方式」が必要だ。最後にゼミで話し合ってきた提案をお手元の資料で紹介する。(資料の説明)

4. 全体討議

【座長】学生のディベートを踏まえて全体討議をする前に、新宿区区民の声委員会の報告、新宿まちづくりの会の提言、区政モニターの報告書をご紹介いただきたい。区民の声委員会の方がいらっしゃらないので事務局からどうぞ。

【事務局】(区民の声委員会の報告を説明)

【区政モニター】(区政モニターの議論と報告の説明)

【新宿まちづくりの会】(提言について説明)

【座長】それでは全体討議に入る。

【男性1】学生はよく調べていると思うが、ニコチンの依存性についての話がなかった。タバコは依存性があるので空き缶や紙くずのポイ捨てとは違う。千代田区で「立ち止まって吸えば歩きタバコじゃない」と言う人がいるそうなので、「歩きタバコ」ではなく「路上喫煙」と言ったほうがいい。それから、JTはよく携帯灰皿を配っているが、携帯灰皿は歩きタバコの原因となるので配らないほうがいい。

【男性2】学生の話は勉強になった。私は、マナーやモラルというのは、自分のためのルールだと思う。人間が二人以上いる社会においては、ルールが必要なときがある。タバコについてはルールを作る時期になっていると思う。歩きタバコが悪いことだと気づいていない人に、ルールを作ることで気づくチャンスを与えられる。

【男性3】私はルールで取り締まるべきだと思う。その際、住民の協力も必要だが、住民だけでなく企業にも協力を求めるべき。企業名をプリントしたTシャツを着てボランティアに参加すれば、企業のイメージアップにもつながると思う。

【男性4】学生の討論は参考になったが、もっと突っ込んだ議論をしてほしかった。ルールとマナーは次元が違う。喫煙者がマナーだと考えることでも、私のようにアレレギーのある人間にとってはマナーの問題だと思えない。喫煙者にこの苦しさを理解してもらえないので、ルールが必要だ。

【男性5】今も歩きタバコのせいで気管支を痛めている。マナーでは無理だと思うので罰則付きのルールが必要だ。ルールは相当厳しくしないと、分煙のために喫煙場所を作ってもそこから排出された煙で受動喫煙の害がでる。交通バリアフリー基本構想というものを自治体がつくることができるそうだが、そういう中で完全禁煙の地区を指定するなどルールを定めないと、交通バリアフリーはマナーでは担保されない。

【男性6】過料を取ることに賛成だ。ポスター等による啓発によりマナーを向上させるのもよいが、同時に過料もとったほうがいい。

【女性1】小さい子供に教育していくべきだ。私は小さい子供にタバコの火で怪我をさせたくない。タバコを吸いながら歩いている人はこうした危険性を感じていない。新宿だけでなく都も動いてほしい。条例で決めて取り締まるべきだ。

【男性7】学生はマナーとルールを少々混同していたようで、マナー派の人が盛んに「港タバコルール」のことを持ち上げていたが、マナーというのは違反しても顔をしか

める程度しかできないもので、ルールというのは違反したら抗議できるものだ。昔のキセルは歩きながら吸えなかったが、今のタバコはフィルターがついているから気軽に歩きタバコができてしまう。タバコは文化だと言うが、キセル文化のほうがよい。まずはタバコ会社が歩きタバコをやめるようにもっと宣伝すべき。過料は税金がかかって大変だから再検討したほうがいい。

【男性 8】新宿で歩きタバコにより 3 回もやけどしたことがある。今度やけどしたらまちの管理者である新宿区長を訴えたい。ポイ捨てと違って歩きタバコは重大な害を与える可能性があるから、厳重にルールで取り締まるべきだ。某外国人スターが、日本はタバコ臭いから二度と来ないと言ったという。新宿は世界的なまちであるとともに、世界一タバコのにおいのないまちにしていきたい。

【男性 9】ルールで縛るよりも、喫煙者の良心に訴えるべき。「あなたは自分の家の床に吸殻を捨てられるか」という問いかけをしていけばいい。

【女性 2】私はルールとマナーを合わせて行って、モラルを確立するのがよいと思う。ゴミ箱も、捨てずにいられないようなかわいいデザインにするとか、ペットボトルを入れると 10 円出てくるとか、そういったものにすればみんな捨てると思う。

【男性__】吸殻ごみのもう少しケミカルな面も重視したほうがよい。分解されないタバコの吸殻のフィルターによる土壌汚染とか地球の汚染とか。また、忘れてはいけないのが、未成年が歩行喫煙を見ることの教育上の効果です。そういう姿を見せないのが教育上大切だ。

【男性 1】先ほどかわいいゴミ箱の話がありましたが、灰皿はゴミ箱と違って歩きタバコを助長するから置かないほうがいい。それから、ひとつ事例を紹介したい。前を歩いている人の歩きタバコをよけようとして、よろけて転倒し、骨折した人がいる。こういう場合は誰を訴えたらよいのか。

【男性 10】過料や罰金の徴収についてだが、駐車違反は警察で、ポイ捨ては環境保全課で、放置自転車は別の課で、歩きタバコもまた別の課で徴収するというのでは、莫大な費用がかかってしまうので、セクショニズムを廃止してどこでも徴収できるようにしてはどうか。また、新宿区特区とか歌舞伎町特区とか、小泉内閣に認めてもらってはどうか。

【座長】そろそろ時間だが、区民の発言を聞いて、学生のゼミの皆さん、発言をどうぞ。

【マナー派】ルール派とマナー派に分かれたが、実際に議論を始めてみたら、過料に賛成か反対かでやったほうが具体的でいいという意見が出た。今日はルールかマナーかで討論し、ルールとマナーを混同してしまったところがあり、その点をご容赦いただきたい。区民の皆さんがマナーについて、あるいは過料について大変よく勉強されていて、感心させられた。

【ルール派】区民の皆さんが本当にいろんなことをよくご存知で、自分たちがまだまだ未熟だと感じた。新宿区特区構想のご発言は面白いと思った。

【進行役の学生】最後に、この討論を少しでも新宿の施策の参考にさせていただければ幸いだ。

【座長】学生さんのディベートの中で出るかと思っていたんですが、もし歩きタバコに対して行政罰を科すとしたら、法的な根拠はどうか、首藤先生からお願いします。

【首藤】形式的には地方自治法第 14 条に根拠がある。明確に害があると確認できれば、自治体の立法裁量で過料を設定できる。今回の議論でも歩きタバコの害は認められるし、一般的にマナーとしては確立していることなので、あとは行政がどれくらいやれるかだ。

【座長】次回の予定等について事務局からどうぞ。

【事務局】次回、第 3 回フォーラムは 9 月 7 日午後 7 時から。近隣の各区の取り組みについて、担当者呼んで話を聞く。

4 . 閉会